

広見



令和5年度
5月2日発行
知立中学校長

「学校が一番、ゴルフは二番！（宮里 優）」

沖縄県出身の元女子プロゴルファー宮里藍さんは、4歳からゴルフを始め、小学校入学後も週に二回練習をしてきたそうです。そして、父親の宮里優さんからは、「学校が一番、ゴルフは二番！」と言われ育てられてきました。父親の優さんの考えは、「友だちと関わりを深めながら学校での学習や行事、集団生活を通していろいろなことを学ぶことが今は大切である。」「考える力や豊かな心を身につけることができればピンチのときに正しい状況判断ができるようになる。」「学校でがんばったことは社会に出てから必ず役に立つ。そして、素晴らしい人間に育って欲しい。だからゴルフは二番でいい。」というものでした。この教えを忠実に実践した宮里藍さんは、後に世界で活躍するゴルファーとなりました。一流の選手は、プレーもすごいです。人間性も一流ではないでしょうか。知中生の皆さんにも学校での学習や生活を一番に考え、人として立派に成長してくれることを期待しています。われわれ職員も全ての生徒の成長を少しでも支えられるように頑張ります。

さて、過日、開催しました授業参観、PTA総会、学年保護者会には、大勢の方に御出席いただき誠にありがとうございました。今後、1年生は5月16日から部活動への本入部となり、いよいよ中学校生活が本格的になります。また、2、3年生においては、宿泊学習に向け、級長会を中心に活動の目標に合わせた有意義な内容を計画しています。仲間とのつながりを深め、友情の輪を広げ、あいさつ、時間を守る、身なりなどのマナーを大切に、思いやりの心をもって、豊かで好ましい人間性を培ってくれることでしょうか。加えて、自分を支えてくださる多くの人に感謝し、自分自身のすばらしさをひとつでも多く発見してくれることを期待しています。

最近の知中の様子



スペースの関係で、まだ前を向いたままではありますが、会話は、良いことになっています。しかし、さすがに前を向いたままでは会話にならないようで、黙食に近い状態が続いています。今後、更に会話が弾むようになることを期待しています。

【ある日の1年生の給食時間の様子】



第1回委員会の日の生徒会、級長などが集まった総務委員会の様子です。前期は、彼らが中心となって学校を動かしてくれました。



令和4年度の役員の皆様おつかれさまでした。令和5年度の役員の皆様、今年一年よろしくお祈りします。